

# 愛知県立芸術大学創立60周年

## 記念コンサート 時を紡いで

マーラー / レアンダー 詩 春の朝 *Frühlingsmorgen* / 思い出 *Erinnerung*  
 リスト / ハイネ 詩 君は花のよう *Du bist wie eine Blume*  
 リスト / ゲーテ 詩 御身天より来たりて *Der du von dem Himmel bist*

**Sop** : 赤津幸子 **Pf** : 矢部伸子

バッハ パルティータ第3番イ短調 *Partita No.3 a-moll*

**Pf** : 小藺井京子

ブラームス / グロート 詩 メロディのように *Wie Melodien zieht es Op.105-1*  
 ロッシーニ オペラ《チェネレントラ》より  
 悲しみと涙の内に生まれ *Nacqui all'affanno e al pianto*

**Alt** : 塩澤直美 **Pf** : 桜井英津子

クライスラー 愛の哀しみ *Liebesleid* / 美しきロスマリン *Schön Rosmarin*  
 エルガー 愛の挨拶 *Salut d'amour*  
 シューベルト アヴェ・マリア *Ave Maria*

**Va** : 林 徹也 **Pf** : 林 美智子

橋本國彦 曲 / 深尾須磨子 詩 舞  
 R.ステュアート 曲 / P.キング 詩 テネシーワルツ *Tennessee Waltz*

**Sop** : 関 定子 **Pf** : 松浦朋子

マーラー (A.タロー編) 交響曲第5番より アダージェット *Adagietto*  
 ショスタコーヴィッチ 24の前奏曲とフーガ作品87より 第24番二短調  
*24 Preludes and Fugues Op.87 No.24 in D minor*

**Pf** : 武内俊之 (Special Guest)

2026.10.31 Sat 13:30 Start (13:00 Open)

旧東京音楽学校奏楽堂 (上野公演内)



チケット料金 : 2,000 円 (全自由席)

＜チケットお申込み専用フォーム <https://forms.gle/FArcD2fcvjAUFJXr9>

主催 : 愛知県立芸術大学音楽学部同窓会東日本支部 <http://www.a-fam-east.jp/>  
 後援 : 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 / 愛知県立芸術大学音楽学部同窓会

会場アクセス





# Profile



赤津幸子 (Sop) *Sachiko Akatsu*

音楽学部声楽科卒業。名古屋二期会に所属し、オペラ、歌曲コンサートに多数出演。東京に戻り、IVSコンサートに毎年出演。現在、ハイルマン合唱団に所属し、マタイ受難に毎年、天地創造、メサイア、エリアに参加。今年後半には、モーツァルトレクイエム、マニフィカト、エリア、第九に参加予定。定期的にリートコンサートに出演。神田幸子、木下武久、飯田純子、ウーヴェ・ハイルマン、石井ひろ子、各氏に師事。二期会会員、歌曲アンサンブル研究会会員。



矢部伸子 (Pf) *Nobuko Yabe*

音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。アンサンブルピアニストとして、リートデュオを中心に多くの演奏会に出演。ピアノデュオ、室内楽なども行う。バッハ「マタイ受難曲」にオルガニストとして参加。共演 CD2枚。二期会ドイツ歌曲研究会ピアニスト会員。



小園井京子 (Pf) *Kyoko Osonoi*

音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。日本ショパン協会東北支部新人演奏会、ショパンファミリーコンサート、仙台シューマン協会コンサート、2016年福岡県久留米市において、東日本大震災・熊本地震復興支援公演「緑の追憶」コンサートに招待出演。など多数のソロ、デュオリサイタルに出演。第12回ベテラン音楽コンクール全国大会第5位、2024年日本バッハコンクール全国大会一般Bの部銀賞、2025年第25回ショパン学生ピアノコンクール in TOHOKU 本選特級の部銀賞など多数の受賞。これまで、故石川治子、故大堀敦子、須田眞美子、倉戸テル各氏に師事。現在、菅原望氏に師事しながら日々研鑽を積み、宮城県仙台市にて後進の指導にあたる。



塩澤直美 (Alt) *Naomi Shiozawa*

音楽学部声楽科卒業、大学院声楽研究科修了。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。飯山恵巳子、クラウス・オッカーの各氏に師事。日興文化協会フレッシュコンサート、米デラウェアオペラスタジオサロコンサート等多数出演。第九、メサイア、ミサ等のソリスト、映像作品や舞踏公演への演奏提供、各種イベントコンサート等で活動、アルト特有の明るく深い響きは「稀に見る美声」と評される。またTVの再現や芝居公演（悪役商会）等に役者として出演。CLASSIC 玩味会公演（静岡・東京・名古屋）では台本・編曲・訳詞・イラスト・デザインを担当。YouTube 配信「アルティスタ静岡」パーソナリティ。国際芸術連盟専門家会員、アメリカの歌研究会会員。CLASSIC 玩味会主宰。



桜井英津子 (Pf) *Etsuko Sakurai*

音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。恩師・加藤美緒子先生の奏でる豊かで美しい上質な音色や表現には、今なお感銘を受け続けている。在学中より飯山恵巳子先生の声楽クラス及び大学院クラスで伴奏を学び、リート（ドイツ歌曲）の奥深い世界に魅せられ渡独、研鑽を積み、クリスティアン・デ・ブローイン、コンラート・リヒター両氏に師事。二期会ドイツ歌曲研究会伴奏ピアニストを経てドイツリートをライフワークとしている。近年、大沼湖リートセミナーにてメゾソプラノの廣澤（黒石）敦子さんと再会・共演し、先輩の素晴らしい歌に多大な影響を受けた。またドイツ文学者・故檜山哲彦先生の薫陶を胸に、現在は県芸大先輩である伴奏の大家・水谷真理子先生のもとで伴奏芸術の深淵に触れ、音楽への畏敬と至福の念を新たにしている。この度、飯山先生門下の塩澤直美先輩に伴奏の機会をいただき大変嬉しく思います。92歳になられた飯山先生をはじめ、これまでお世話になった先生方へ心から感謝を込めて。



林 徹也 (Va) *Tetsuya Hayashi*

大村多喜子にヴァイオリン、青木十良氏に室内楽を師事。慶応義塾大学、愛知県立芸術大学を経て渡米。A. トス、M. ミシャコフ両教授にヴァイオリンを、プタベスト、ジュリアード、クリーブランドなどの四重奏団に室内楽を師事。サン・アントニオ交響楽団やバッファロー・フィルハーモニックなどのヴァイオリン奏者を務めた後、渡独。ヴィオラを U. コッホ教授に師事。1977年にシュトゥットガルト室内管弦楽団に首席ヴィオラ奏者として入団。以来 32 年間、世界各国で演奏、録音に活躍。その間にドイツ・バッハ・ゾリステン、バッハアカデミーなどの首席奏者も務める。2009年に退団し、活動の拠点を日本に移して室内楽の演奏や、後進の指導に活躍。特に、ギョルギー・ボグナー氏との室内楽シリーズを毎年開催し、近年ではヴァイオリニストのジェラルド・ブーレ氏との共演で好評を得ている。元名古屋芸術大学客員教授、現財、マエストロ音楽院、及びソルフェージュスクール講師を務める。



林 美智子 (Pf) *Michiko Hayashi*

音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。同大学院修了。米国アスペン音楽学校、ドイツ・フライブルク国立音大で学ぶ。ピアノを兼松信子、福井直敬、A. ツェルコ、ヴァルターの各氏、室内楽をケーベル、ヴェルナー、ロバート・マン、バルトの各氏に、チェンバロを D. オルンシュタイン氏に師事。G. ヒュッシュ氏のリート・マイスタークラスでピアノ伴奏者を務め、渡米し、ニューヨーク州立大学オペラ科、名古屋二期会、名古屋フィル、シュトゥットガルト室内楽管弦楽団などのピアニストを務める。シュトゥットガルト・インターナショナル・スクールなどで後進の指導。2009年より、日本に活動拠点を移し演奏を続けるほか、現在、マエストロ音楽院でピアノ、室内楽及び歌曲伴奏法を指導する。



関 定子 (Sop) *Sadako Seki*

北海道出身。北海道教育大学から愛知県立芸術大学を経て、ミラノ市立音楽学校で研鑽を積み、1977年には、わずか一年間でヨーロッパの主要国際声楽コンクール6つ（ヴェルディ、エンナ、ロニーゴ、ジューリ、ヴィオッティ、F=ビーニャス）に優勝・入賞を果たす。声域はドラマティック・コロラトゥーラで、低音から超高音までをカバーする豊かな声と高度なテクニック・音楽性を備えている。帰国後は二期会、日本オペラ協会、東京室内歌劇場などで着実な演奏活動を展開。「顔の王女」「春琴抄」「黒船」「ノルマ」「トゥーランドット」「ルチア」「椿姫」「アイダ」など多くのタイトルロールを歌い、聴衆を魅了する一方、「日本歌曲」を歌い、教え広める事をライフワークとしており、「奏楽堂日本歌曲コンクール」の審査員も務めている。「山田耕筰歌曲集」で日本レコード・アカデミー賞を受賞。CD「日本民謡にルーツを求めて」「藤井清水を歌う」で、文化庁芸術家賞を2度受賞。今年81歳を迎えたが、益々円熟味を増し、エネルギーに演奏活動を行っている。



松浦朋子 (Pf) *Tomoko Matsuura*

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京芸術大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程を修了。東京文化会館・新進音楽家デビューコンサート、日本演奏連盟推薦新人演奏会などに出演。東京と名古屋でソロリサイタルを開催。第20回奏楽堂日本歌曲コンクールにて、優秀共演者賞を受賞。各地の音楽セミナーなどで伴奏講師を務める。主に声楽との共演ピアニストとして、多数の演奏会に出演するほか、オペラ公演の音楽スタッフとしても活動している。

## Special Guest



武内俊之 (Pf) *Toshiyuki Takeuchi*

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部、同大学大学院をいずれも首席で卒業・修了。全日本学生音楽コンクール第1位、安宅賞、クロイツァー賞、日本音楽コンクール第1位、野村賞、井口賞、河合賞など受賞歴多数。文化庁在外研修員としてヨーロッパに渡り、カールスルーエ国立音楽大学大学院にてカレ・ランダール教授のもと研鑽を積み、同大学院Konzertexamen課程を修了し、ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに、国内外でのソロ・リサイタルのほか、各地のオーケストラとの協演、現代作曲家からの委嘱演奏、室内楽、アルバムリリースなど幅広い活動を展開し、高い評価を得ている。J. S. バッハ、ベートーヴェン、シューマン、ブラームスを中心とするドイツ音楽と、ラフマニノフ、スクリャービン、プロコフィエフ、ショスタコーヴィッチ等のロシア作品を中核レパートリーとしている。演奏活動の一方、多数のコンクール等において審査員を務めるほか、現在、愛知県立芸術大学教授、名古屋音楽大学客員教授として、後進の育成にも力を注ぐ。